

第2章

令和3年度の 取組み実績と評価（概要）



令和3年度の実績と
その評価の概要を記載しています。

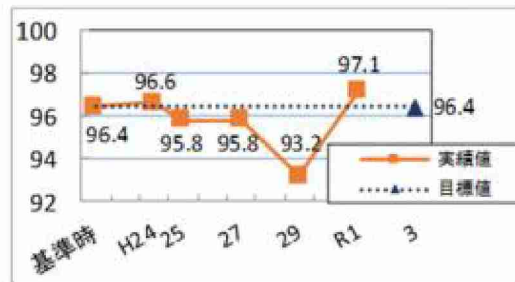
1. 4つの分野における主な取組み実績と評価の概要

自然環境分野

■取組概要と主な指標の達成状況

コロナ禍でも工夫をしながら、生物の生息調査や里山の農的活用の検討、公園リニューアルに向けた市民との対話等を行うとともに、引き続き、公園・道路アダプトの支援やグリーンボランティアの育成に努めました。

●みどりが豊かと感じる市民の割合



■令和3年度の主な取組評価

●生物多様性の確保に関する取組みの推進 (p.30)

コロナ禍で予定通り事業を実施することができない中、一ノ宮用水の生きもの調査と連光寺・若葉台里山保全地域の植物調査は集まる人数を制限するなど工夫して行い、引き続き豊かな自然環境が維持されていることが確認できました。また、気候変動と生物多様性を一体で考える取組として、「多摩市いきもの季節観測」を開始しました。

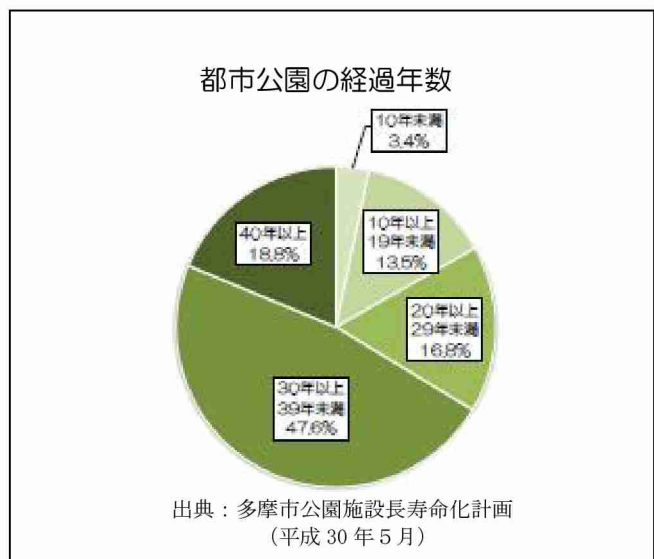
●生産緑地地区の保全と活用 (p.34)

連光寺・若葉台里山保全地域の指定区域内に位置する生産緑地を公有化し、用地の農的な活用に向けた検討を行いました。今後については、市民とともに実験などを行いながら具体的な活用手法等を決めていく予定です。

●公園緑地のリニューアル (p.44)

公園全体の改修を考える市民ワークショップはコロナ禍でできませんでしたが、公園遊具については、小学校クラス単位の小規模で集まるなど工夫しながら、児童生徒から意見をもらい、部分的ではありますが公園改修を進めることができました。

「多摩市いきもの季節観測」
募集チラシ

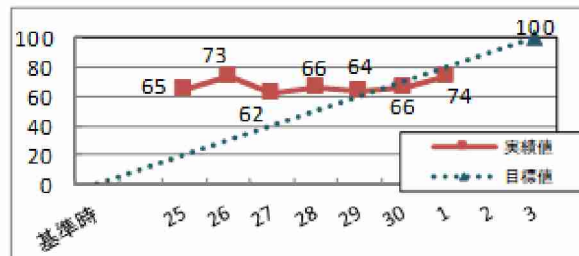


生活環境分野

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

大気環境については光化学オキシダント、河川水質については大腸菌群数がいくつかの地点で環境基準を超過していました。
まち美化キャンペーンは、コロナ禍で縮小開催となりましたが、近年の海ごみ問題の解決にも繋がる取組であるため、マイクロプラスチック問題のパネル展示をして啓発も行いました。

●ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合の割合



■令和3年度の主な取組評価

●生活環境の保全 (p.54)

大気環境のうち環境基準を超過していた光化学オキシダントの主な原因は揮発性有機化合物と言われています。市内に対象事業所はほとんどないため、市外からの影響が考えられます。そのため、今後周辺自治体及び東京都と連携して広域的に対策を行う必要があります。

河川水質のうち大腸菌群数は令和4年4月1日より環境基準が一部改正され、「大腸菌数」に変更されました。令和4年度からは新基準で測定を行い、引き続き水質の状態を監視してまいります。

●まち美化の推進 (p.57)

コロナ禍でも感染対策を行いながら秋のまち美化キャンペーンを開催しました。さらに、令和2年度から多摩市消費生活フォーラムとエコ・フェスタを合同開催しており、その中で、多摩市のまち美化活動や海ごみ問題について、パネルで紹介し、市民への啓発を行いました。

また、近年の海ごみ問題はまちなかのポイ捨ても原因の一つとなっていることから、令和4年度は近隣の大学と連携してマイクロプラスチック流出実態把握を行っています。市民の取組についても、大栗川や多摩センター駅周辺において、市民による清掃活動の機運が盛り上がってきています。

光化学オキシダントや PM2.5 が増える原因について



大栗川清掃活動の様子

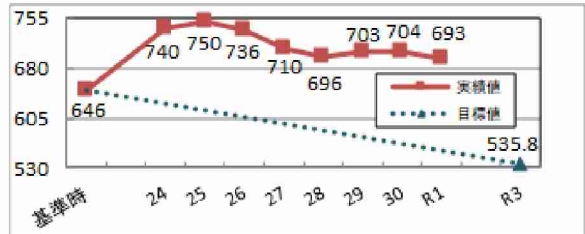


地球環境分野（エネルギー関係）

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

市内のCO2排出量は減少傾向にありますが、目標値には届いていません。まずは、市の率先行動を進めることとし、令和4年度から多摩清掃工場で発電された、CO2排出ゼロの電力を本庁舎や小中学校など45の施設へ供給するため、契約手続きを進めました。

●市内の二酸化炭素排出量



■令和3年度の主な取組評価

●省エネルギー推進の意識の共有と啓発 (p.72)

市の事務事業におけるCO2排出量は、コロナ禍の影響もありましたが、昨年度に引き続き令和3年度も着実に減少させることができました。

一方、2050年CO2排出実質ゼロを達成させるためには、市民とともに社会変容を進めていく必要があります。まずは現在の気候変動の問題について理解を深めるため、専門家を招いて12本のYouTube動画を作り、現在公開しています。

トークリー動画



多摩市気候非常事態宣言(概要)

- ◆ 気候変動は避けることのできない緊急事態（気候危機）。
- ◆ 気候危機を防ぐために、気候が危機的な状況にあることを全市民と共有し、地球温暖化対策に積極的に取り組む。

<取組みの目標>

- ① 「気候危機」が迫っている事実を市民全員と共有し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。
- ② 資源の有効活用を図り、使い捨てプラスチックの削減を推進します。
- ③ 生物多様性の大切さを共有し、その基盤となる水とみどりの保全を積極的に推進します。



●再生可能エネルギーの推進 (p.77)

令和3年度も公共施設の新築工事については、積極的に再生可能エネルギーを導入しました。

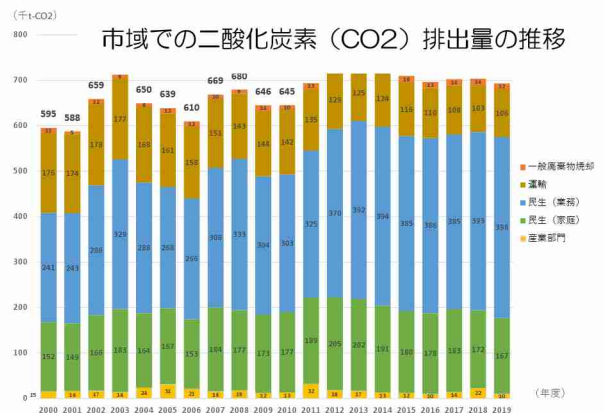
令和4年度についても、多摩清掃工場で発電した電力を地産地消の仕組みに変え、公共施設で使うことでCO2排出量の削減に取り組んでいきます。

また、温室効果ガス排出量の9割を占めるCO2排出量の削減に向けて、市民のみなさんが積極的に対策に取り組めるよう、令和4年度の太陽光パネル等の補助金については、前年度比最大3.7倍に拡充して実施しています。

補助金ホームページ



二酸化炭素 (CO2) 排出量の推移

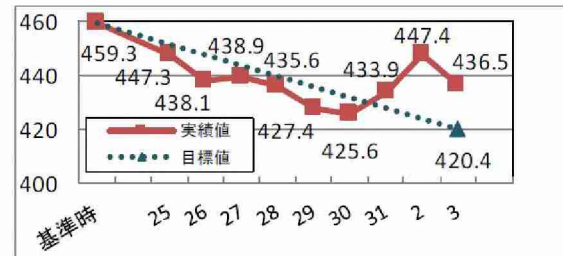


地球環境分野（資源循環関係）

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

家庭系ごみ排出量（市民一人1日当たり）は、436.5gとなり、目標未達でした。これは、前年度に続き、コロナ禍での巣ごもり消費等の影響を受けたものと考えられます。生ごみの削減、食品ロス対策、粗大ごみ削減など、更なるごみの減量啓発に取り組んでいく必要があります。

●家庭からの1人1日あたりのごみ排出量の推移



■令和3年度の主な取組評価

●ごみの発生抑制と減量の推進 (p.66)

家庭系ごみ対策として、燃やせるごみの33.7%を占める生ごみの削減を推進しました。ダンボールコンポストの使い方相談会を開催し、家庭から出る生ごみを堆肥化する生ごみ自家処理の支援を行いました。また8月には小学生親子を対象としたダンボールコンポスト講習会を開催しました。

事業系ごみ対策として、東京都環境局資源循環推進部と連携をした大規模事業所への立ち入り調査などを実施し、一般廃棄物と産業廃棄物の資源化の協力依頼と減量啓発を実施しました。



ダンボールコンポスト『ダンボちゃん』

●プラスチック問題と食品ロス問題

令和2年6月の「多摩市気候非常事態宣言」の3本の柱の一つに「使い捨てプラスチックの削減」が掲げられたのを受け、これまでの「4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）」に「リニューアブル」を加えた「多摩市プラスチック削減方針」を決定しました。

市民から排出された容器包装プラスチック等各種資源物は、エコプラザ多摩において選別・圧縮・梱包等を行い、再商品化事業者等へ搬出することにより有効利用しました。

食品ロス対策では、多摩市食べきり協力店登録制度やエコクッキングレシピの作成、エコショップ認定制度など、様々な取組を行いました。

多摩市プラスチック削減方針（抜粋）

【基本原則】

「4R+リニューアブルの推進」

これまでの「4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）」に加えて、資源投入を最小限にし、プラスチックを極限まで循環利用する「[リニューアブル]の推進」を図り、持続可能な社会の実現を目指します。

【基本方針】

- (1)プラスチックの利用の削減
- (2)プラスチックのリサイクルの推進
- (3)プラスチックの適正な分別

全文は多摩市公式HPでご覧ください。→



4Rの解説

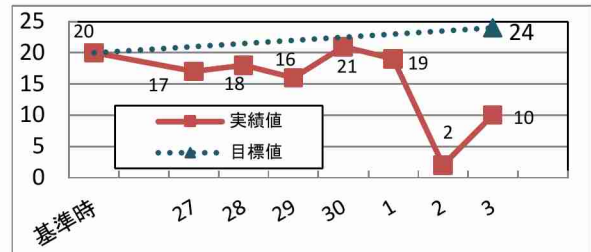
- リフューズ：ごみになるものは「断る」「買わない」「持ち込まない」
- リデュース：ごみを「減らす」「出さない」「作らない」
- リユース：そのまま、又は形を変えて「使い続ける」
- リサイクル：一度資源に戻してから「再利用する」

環境情報分野

■取組実績の概要と主な指標の達成状況

コロナ禍や悪天候で大勢が一度に集まる環境活動の多くは取りやめになりましたが、幼稚園や保育園、児童館などでは感染対策を行いながら体験を通じた環境学習が開催されました。また、教育委員会では「ESD実践事例集」を作成するとともに「ESDコンソーシアム」を実施しました。

●子どもを対象とした環境に関する活動の実施回数



■令和3年度の主な取組評価

●地域と連携した環境教育の推進 (p.88)

(1) ESDの推進

教育委員会では、平成21年から「2050年の大人づくり」をスローガンにESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。

令和3年度は、「多摩市子ども未来会議」の開催は中止になりましたが、地域や家庭、市民団体、事業者等と連携した総合学習を推進するとともに、「ESDコンソーシアム」も開催されました。

また、市内小学校6年生の総合学習では、再エネについて学び、自ら発電した電気で聖蹟桜ヶ丘駅前のクリスマスイルミネーションを点灯させました

(2) 幼少期における環境学習の推進

市内の幼稚園、保育園では、野菜の体験栽培、昆虫など身の回りの自然と触れ合う体験等が開催され、児童館では資源循環型社会をテーマに、近年の気候変動問題にも触れながらプラスチックごみや食品ロス対策など楽しく学ぶ機会を提供しました。

このように、幼少期から継続して行う環境教育は、気候変動問題を将来主体的に捉え、解決に取り組む知識や価値観を身に付けるためにとっても大切なことです。今後も市として推進していきたいと考えています。

●人財の育成と体制づくり

令和2年度に引き続き、「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ」を開催しました。令和3年度のテーマは「進めよう！環境にやさしい新しい暮らしを！」を掲げ、気候変動問題や環境問題を共に考え、団体間の連携を広げました。

クリスマスイルミネーションの様子



身近な生きもの観察の様子（保育園）



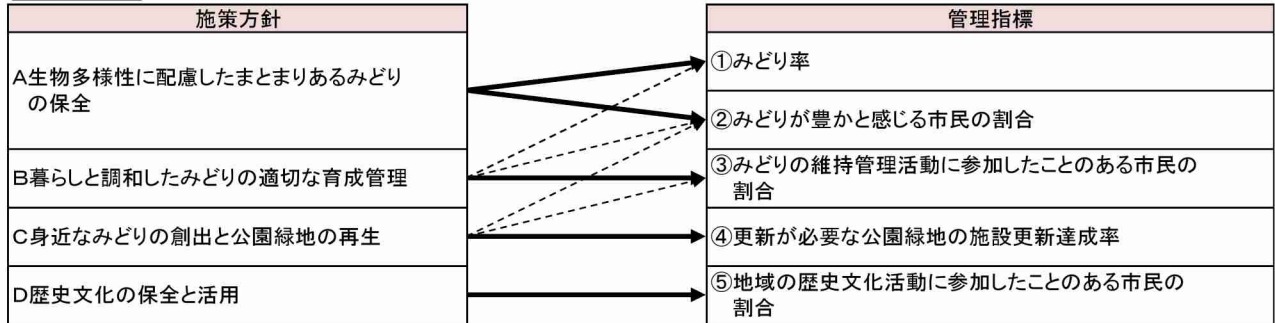
2. 取り組み内容と評価について

(1) 4つの分野における施策方針と管理指標の関係性について

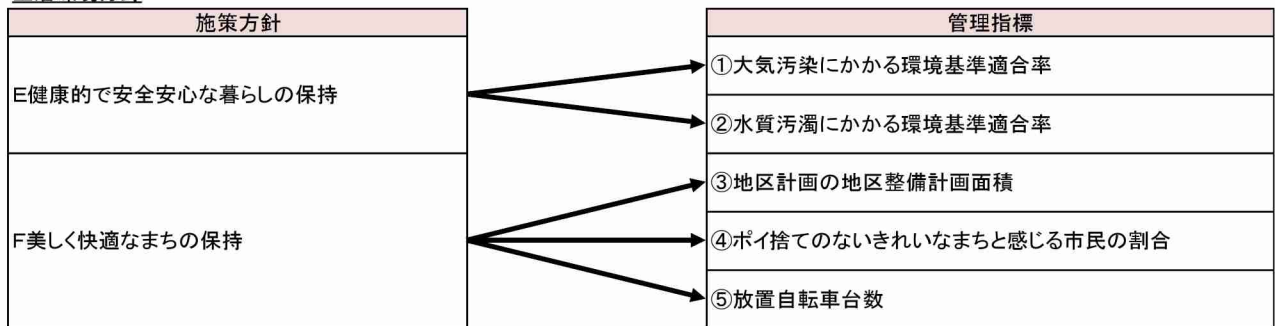
自然環境分野、生活環境分野、地球環境分野及び環境情報分野の4つの分野では、まず「施策方針」を設定し、それぞれの「施策」、及び施策を進めるにあたっての「取り組み」を定めています。そして、計画期間における短期目標の達成度や施策の進捗状況を管理するための「管理指標」を設定しています。



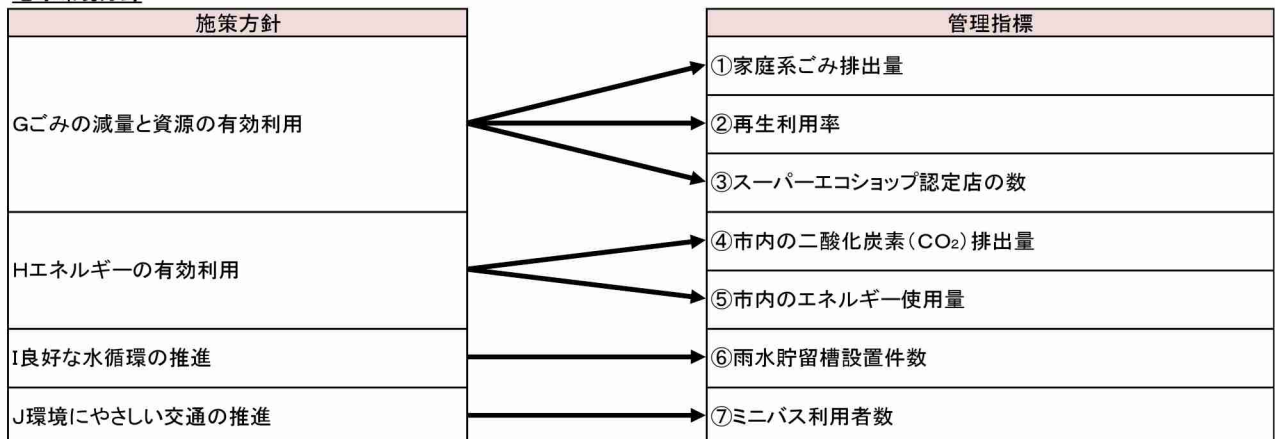
自然環境分野



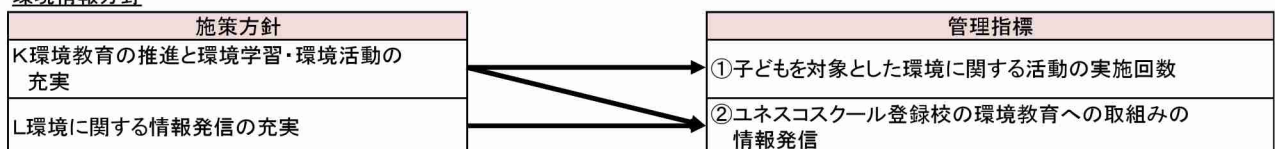
生活環境分野



地球環境分野





環境情報分野




(2) 施策における各取組み項目評価一覧

【評価の表記方法】

取組みが前進した … 












変わらない … 

取組みが後退した … 

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた項目

「工夫して実施」…新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、感染対策等の工夫を行いながら実施したもの

「縮小・延期等」…新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、取組みの縮小・延期・中止等をせざるを得なかったもの

分野	短期目標	施策と取組み項目						掲載ページ
			H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
自然環境分野	自然と暮らしが調和した多摩のみどりの形成	A 生物多様性に配慮したまとまりあるみどりの保全						
		01 生物多様性の確保に関する取組みの推進						
		①生物多様性の確保に向けた体制づくり				工夫して実施	工夫して実施	30ページ
		②生物生息空間の骨幹となるみどりの拠点と軸の形成						31ページ
		③生物環境の把握とデータバンク化				縮小延期等	縮小延期等	31ページ
		02 拠点や軸となるまとまりある民有樹林の保全						
		①法制度を活用したまとまりある民有樹林の保全						32ページ
		②その他の手法によるまとまりある民有樹林の保全						32ページ
		03 まちなかの民有樹林の保全						
		①緩やかな法制度や条例等の活用による民有樹林の保全						33ページ
		②その他の手法によるまちなかの民有樹林の保全						33ページ
		04 生産緑地地区の保全と活用						
		①「みどりの拠点」内の生産緑地地区の保全活用方策の検討						34ページ
		②その他の生産緑地の保全活用方策の検討						35ページ
		05 水環境の維持・保全						
		①湧水や農地等の水路の保全						36ページ
		②公園緑地の池やせせらぎの維持改善						36ページ
		③乞田川や大栗川、多摩川等の河川環境の把握と維持改善						37ページ
		06 周辺自治体との広域連携の推進						
		①周辺自治体や東京都と連携した水とみどりの保全・再生・活用						39ページ
		②市域を越え市民がみどりを楽しめる環境づくり						39ページ

分野	短期目標	施策と取組み項目						掲載ページ
			H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
自然環境分野	自然と暮らしが調和した多摩のみどりの形成	B暮らしと調和したみどりの適切な育成管理						
		07 安全安心な暮らしと調和したみどりの構築						
		①公園緑地の周辺環境における防犯や交通安全に配慮したみどりの点検と管理方策の構築	➡	➡	➡	➡	➡	40ページ
		②防災に配慮した公園緑地ネットワークの再構築	➡	➡	➡	➡	工夫して実施	40ページ
		③景観に配慮したみどりのあり方と保全手法の構築	➡	➡	➡	➡	➡	40ページ
		08 みどりの適正な育成管理						
		①「街路樹よくなるプラン」(街路編)に基づく街路樹の管理の推進	➡	➡	➡	➡	➡	41ページ
		②「みどりの管理シート」に基づく公園緑地の育成管理の推進	➡	➡	➡	➡	➡	41ページ
		③民有樹林の育成管理	➡	➡	➡	➡	➡	41ページ
		09 パートナーシップによる公園緑地等の育成管理						
		①既存支援制度の活用による持続的な育成管理	➡	➡	➡	➡	➡	42ページ
		②グリーンボランティア制度による樹林等の持続的な育成管理	➡	➡	➡	➡	➡	42ページ
		③市民イベント等を活用した公園緑地等の育成管理の推進	➡	➡	➡	縮小延期等	工夫して実施	42ページ
		C身近なみどりの創出と公園緑地の再生						
		10 身近な緑化の推進						
		①多摩市街づくり指導基準の強化や緑化などへの意識高揚の推進	➡	➡	➡	➡	➡	43ページ
		②公共施設の緑化推進	➡	➡	➡	➡	➡	43ページ
		③市民の身近な緑化活動への支援	➡	➡	➡	➡	➡	43ページ
		11 公園緑地のリニューアル						
		①公園緑地の総点検に基づく計画的な施設更新	➡	➡	➡	工夫して実施	工夫して実施	44ページ
		②借地公園の適切な見直しの推進	➡	➡	➡	➡	➡	44ページ
		③市民参加型のリニューアルの推進	➡	➡	➡	工夫して実施	工夫して実施	44ページ
		12 みどりのリサイクルの推進						
		①剪定枝等の土壌改良材としての活用の推進	➡	➡	➡	➡	➡	45ページ
		②みどりのリサイクルのあり方の検討	➡	➡	➡	➡	➡	46ページ
		D歴史文化の保全と活用						
		13 文化財等の保全と活用						
①史跡文化財や歴史的空間の保全	➡	➡	➡	➡	➡	47ページ		
②みどりと連携した史跡文化財の活用	➡	➡	➡	工夫して実施	➡	47ページ		

分野	短期目標	施策と取組み項目						掲載ページ	
			H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
生活環境分野	安全で快適な生活環境の保持	E健康的で安全安心な暮らしの保持							
		14 公害の発生防止と迅速な対応							
		① 公害の発生防止							52ページ
		② 公害への迅速な対応							53ページ
		15 生活環境の保全							
		① 生活環境の保全のためのモニタリング(定期調査と情報提供)							54ページ
		16 放射線への対応							
		① 放射線にかかる情報提供と迅速な対応							56ページ
		F美しく快適なまちの保持							
		17 まち美化の推進							
		① まち美化の推進				工夫して実施	工夫して実施		57ページ
		18 路上駐車・放置自転車の防止							
		① 路上駐車・放置自転車の防止				縮小延期等			58ページ
		19 みどりと都市が調和した街なみの保持							
① 原風景の保全							59ページ		
② 街なみに配慮した建物等の建設							59ページ		
③ 街なみの保全や育成等に関する制度等の活用				工夫して実施			59ページ		

分野	短期目標	施策と取り組み項目						掲載ページ
			H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
地球環境分野	環境にやさしい暮らしの推進	Gごみの減量と資源の有効利用						
		20 ごみの発生抑制と減量の推進						
		①ごみの発生抑制と減量の推進	↑	↑	↑	↑	↑	66ページ
		②エコショップ・スーパーエコショップの推進	→	→	→	縮小延期等	↑	66ページ
		21 ごみの適正処理に向けた分別の徹底						
		①ごみの分別の徹底	↑	↑	↑	→	→	68ページ
		22 資源の有効利用						
		①資源の有効利用	→	↑	→	↑	→	69ページ
		②焼却灰の再利用	→	→	→	→	→	69ページ
		③リサイクル活動の支援	→	→	→	→	→	70ページ
		23 生ごみのリサイクルの推進						
		①生ごみ堆肥化の促進	↑	↑	↑	↑	↑	71ページ
		Hエネルギーの有効利用						
		24 省エネルギーの推進						
		①省エネルギーの実践	↑	↑	↑	↑	↑	72ページ
		②省エネルギー型の設備や機器の導入	↑	↑	↑	↑	↑	74ページ
		③みどりによる省エネルギー活動の推進	↑	↑	→	工夫して実施	→	75ページ
		④水素エネルギー利活用の推進	↑	↑	→	→	→	76ページ
		25 再生可能エネルギーの推進						
		①再生可能エネルギーの導入促進	↑	↑	↑	↑	↑	77ページ
		②ごみ焼却の余熱利用の推進	→	→	→	→	→	78ページ
		I良好な水循環の推進						
		26 雨水地下浸透の推進						
		①雨水地下浸透の推進	↑	↑	↑	↑	↑	79ページ
		27 雨水貯留の推進と水の有効利用						
		①雨水貯留施設の導入と活用	↑	↑	↑	↑	→	80ページ
		J環境にやさしい交通の推進						
		28 自動車排出ガスの削減						
		①環境にやさしい自動車利用の推進	↑	↑	↑	↑	↑	81ページ
29 公共交通・自転車利用の促進								
①公共交通利用の推進	↑	↑	↑	縮小延期等	縮小延期等	82ページ		
②自転車・徒歩による健康増進	↑	↑	↑	↑	→	82ページ		

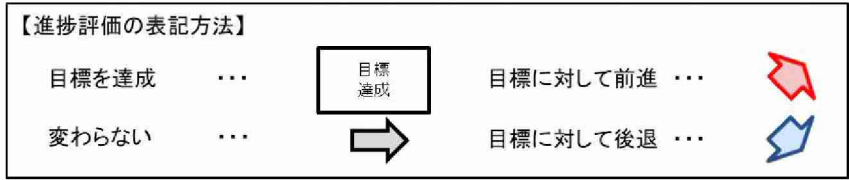
分野	短期目標	施策と取組み項目	H29年度					H30年度					R元年度					R2年度					R3年度					掲載ページ
			H29年度					H30年度					R元年度					R2年度					R3年度					
環境情報分野	環境への理解促進と適切な情報提供	K環境教育の推進と環境学習・環境活動の充実																										
		30 地域と連携した環境教育の推進																										
		① 持続発展教育・ESDの推進																										
		② 幼少期における環境学習の推進																										
		31 環境を楽しむ体験型活動の充実																										
		① 子どもを対象とした環境活動の推進																										
		② 環境を楽しむ多様な機会の提供																										
		32 人材の育成と体制づくり																										
		① 指導者・リーダーの育成																										
		② 活動拠点の提供と活用																										
		③ 活動支援																										
		④ 各種団体や市民、指導者との連携支援																										
		L環境に関する情報発信の充実																										
		33 みどりと環境に関する普及啓発																										
		① 環境に関する情報提供や広報の推進																										
		② 環境に関する施策の実施状況等の報告																										
		③ みどりと環境活動等に関する情報提供の充実																										
		34 環境の安全性に関する情報提供																										
		① 環境に関する適切な情報公開																										
		② 環境に関する相談窓口での対応																										

評価別項目数の合計

	取組み項目数															
	73															
	取組み内容の評価															
	前進					変化なし					後退					
	H29	H30	R1	R2	R3	H29	H30	R1	R2	R3	H29	H30	R1	R2	R3	
	45	44	39	23	27	28	29	34	31	31	0	0	0	0	0	
自然環境	17	15	13	8	10	16	18	20	19	16	0	0	0	0	0	
生活環境	5	5	5	2	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	
地球環境	13	14	11	10	8	5	4	7	5	8	0	0	0	0	0	
環境情報	10	10	10	3	5	3	3	3	3	3	0	0	0	0	0	

	取組み項目数			
	73			
	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けた項目			
	R2		R3	
	工夫して実施	縮小、延期等	工夫して実施	縮小、延期等
	14	5	11	4
自然環境	4	2	5	1
生活環境	2	1	2	1
地球環境	1	2	0	1
環境情報	7	0	4	1

(3) 短期目標達成度及び施策の進捗状況管理指標一覧



分野	短期目標	管理指標	基準値 (H22)	H29	H30	R1	R2	R3	目標値 (R3)	進捗評価	掲載ページ	
自然環境分野	自然と多摩の暮らしが調和した	①みどり率(市内に占める樹林地、公園緑地、水面などで覆われた面積の割合)	46.7% (※1)	-	-	49.9%	- (※1)	- (※1)	現状維持	目標達成	48ページ	
		②みどりが豊かと感じる市民の割合	96.4%	93.2%	- (※2)	97.1%	- (※2)	97.1%	現状維持	目標達成	49ページ	
		③みどりの維持管理活動に参加したことのある市民の割合	66.1%	59.6%	- (※2)	56.6%	- (※2)	57.5%	80.0%		49ページ	
		④更新が必要な公園緑地の施設更新達成率	0.0%	7.7%	7.7%	10.3%	- (※2)	13.8%	40.0%		49ページ	
		⑤地域の歴史文化活動に参加したことのある市民の割合	6.6%	4.1%	- (※2)	4.0%	- (※2)	4.5%	20.0%		50ページ	
生活環境分野	安全で快適な生活環境の保持	①大気汚染にかかる環境基準適合率 ※SO ₂ 、NO ₂ 、SPM、CO、Oxのパーセンテージは、夏期または冬期に市内複数箇所測定した地点のうち、環境基準を満たした地点数の割合を表している。これらを総合して評価した結果を管理指標としている。	SO ₂	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	60ページ	
			NO ₂	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	60ページ
			SPM	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	60ページ
			CO	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	60ページ
			Ox	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		61ページ
			総合評価									
	安全で快適な生活環境の保持	②水質汚濁にかかる環境基準適合率 ※pH、BOD、SS、DO、大腸菌群数のパーセンテージは、夏期および冬期に市内複数箇所測定した地点のうち、環境基準を満たした地点数の割合を表している。これらを総合して評価した結果を管理指標としている。	pH	64.0%	67.0%	83.0%	50.0%	67.0%	17.0%	100.0%		62ページ
			BOD	100.0%	92.0%	100.0%	92.0%	100.0%	92.0%	100.0%		62ページ
			SS	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	62ページ
			DO	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	目標達成	63ページ
			大腸菌群数	50.0%	8.0%	8.0%	0.0%	8.0%	8.0%	100.0%		63ページ
			総合評価									
		③地区計画の地区整備計画面積	400ha	412.4ha	412.4ha	412.4ha	412.4ha	412.4ha	420ha		63ページ	
	④ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合(※3)	-	64.0%	66.0%	74.0%	- (※3)	- (※3)	100%に近づける		64ページ		
	⑤放置自転車台数	219台	39台	37台	27台	31台	27台	0台に近づける		64ページ		

(※1) みどり率の基準値は平成21年度の数値。算出は5年に一度を目処に実施しているため、平成29年度、30年度、令和2年度、3年度の数値はない。なお、みどり率の算出にあたり、前回(平成21年度)の集計結果に、都立公園の都市計画決定面積が含まれていたため、これを除き改めて算出した。基準値及び実績値は改めて算出した数値を使用している。

(※2) 世論調査の結果を元に算出しているが、平成30年度、令和2年度は世論調査を実施していない。

(※3) ポイ捨てのないきれいなまちと感じる市民の割合は、多摩市まちの環境美化条例の施行が平成24年10月1日であったため、平成25年度より評価を開始しており、進捗評価は平成26年度から実施。令和2年度、3年度はアンケートを実施する予定だった観察会が中止となったため数値はない。

分野	短期目標	管理指標	基準値(H22)	H29	H30	R1	R2	R3	目標値(R3)	進捗評価	掲載ページ
地球環境分野	環境にやさしい暮らしの推進	①家庭系ごみ排出量(市民1人1日あたり)	459.3 g	427.4g	425.6g	433.9	447.4g	436.5g	420.4 g		83ページ
		②再生利用率	34.9%	35.0%	34.5%	33.8%	35.0%	34.0%	40%以上		83ページ
		③スーパーエコショップ認定店舗の数	0店	22店	17店	15店	14店	24店	36店		83ページ
		④市内の二酸化炭素(CO ₂)排出量(※4)	646 kt	710kt	696kt	703kt	704kt	693kt	535.8 kt		84ページ
		⑤市内のエネルギー使用量【新規】(※4)	7,790TJ(H21)	7,070TJ	7,061TJ	7,217TJ	7,219TJ	7,259TJ	減らす		84ページ
		⑥雨水貯留槽設置件数	195件	263件	269件	275件	281件	288件	400件		85ページ
		⑦ミニバス利用者数	576.7千人	805.9千人	705.5千人	676.3千人	503.7千人	647.5千人	780.0千人		85ページ
環境分野情報	環境への適切な情報提供	①子どもを対象とした環境に関する活動の実施回数	20事業	16事業	21事業	19事業	2事業	10事業	24事業		105ページ
		②ユネスコスクール登録校の環境教育への取組みの情報発信	0校	26校	26校	26校	26校	26校	全校(26校)	目標達成	105ページ

(※4) みどり東京・温暖化防止プロジェクトのデータ公表タイミングの関係で、基準値は平成21年度、H29は27年度、H30は28年度、R1は29年度、R2は30年度、R3は令和元年度の値を使用

評価別項目数の合計

	管理指標数																								
	19																								
	目標に対する進捗評価																								
	目標達成					前進					変化なし					後退					評価不能				
	H29	H30	R1	R2	R3	H29	H30	R1	R2	R3	H29	H30	R1	R2	R3	H29	H30	R1	R2	R3	H29	H30	R1	R2	R3
	3	3	2	3	3	8	7	5	4	11	7	7	6	5	3	1	3	7	7	2	0	0	0	0	0
自然環境	1	1	1	2	2	2	0	3	0	3	2	4	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活環境	0	0	0	0	0	2	2	1	2	2	2	3	3	2	3	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
地球環境	1	1	0	0	0	4	4	1	2	5	2	0	0	0	0	0	3	6	5	2	0	0	0	0	0
環境情報	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

